

## 県内景気動向調査(2025年1-3月実績、4-6月見通し)

## — 県内景気は踊り場の状態にある —

株式会社海邦総研(代表取締役社長:湖城誠一郎)はこのたび、県内景気動向調査を実施しました。その結果をご報告いたします。

## 【全体概要】

2025年1-3月期の県内企業の景況判断 BSI は-0.8 で若干の「下降」超となった。原材料費の高騰や最低賃金上昇に伴う人件費負担が増加する中、販売価格への十分な転嫁が行われておらず企業利益への圧迫が大きくなっていることから、「**県内景気は踊り場の状態にある**」。

一方、2025年4-6月期の景況見通し BSI は 12.6 で「上昇」超となった。観光需要は底堅く推移する見込みだが、原材料費の高騰が継続することから、全体として価格転嫁が進むとみられる。今回調査後に、米国の関税政策を起点とした世界同時株安※が生じており、県経済の先行きは下振れリスクもはらんでいる。

## 【業種別概要】

## ■ 観光関連 [ 「上昇」超 外国客増加で市場活況 ]

- 1-3月期の旅行・宿泊業の景況判断 BSI は 31.2 で「上昇」超となった。入域客数が好調で、外国客において顕著な回復傾向が見られる。販売価格も一定程度回復しており、利益を確保できている事業者が多いようだ。

## ■ 建設業 [ 2期連続「上昇」超、人材不足と建築費高騰が課題 ]

- 1-3月期の建設業の景況判断 BSI は 15.4 で「上昇」超となった。2024年の県内着工建築物の床面積は減少した一方で工事費予定額は増加しており、建築コストの上昇が鮮明になっている。

## ■ 卸売・小売業 [ 「下降」超 続く物価高で県民需要停滞 ]

- 1-3月期の卸売・小売業の景況判断 BSI は-5.7 で「下降」超となった。売上は「上昇」超にも関わらず、経常利益は「下降」超となっている。度重なる値上げで、県民需要を筆頭に消費マインドが停滞気味になっているとみられる。

## ■ 飲食サービス業 [ 「下降」超 提供価格高騰で県民需要低下 ]

- 1-3月期の飲食サービス業の景況判断 BSI は-9.1 で「下降」超となった。特に経常利益は大きく「下降」超。観光の恩恵はあるものの、県内需要の下降幅が大きいことから、提供価格の高騰により、県民の外出マインドは低下しているようだ。

## 【雇用】

## ■ 従業員数 [ 建設、飲食サービス、医療・福祉で不足感強く ]

- 1-3月期の従業員 BSI は 45.3 で「不足」超となっている。全ての業種で人員が不足する状況が見られる。

※今回調査は世界同時株安前に実施しており、見通し BSI には織り込まれていない点にご留意ください。

《本調査の問い合わせ先》

株式会社 海邦総研 (担当:地域経済調査部 瀬川、当銘)

〒900-0025 那覇市壺川3-1-19 拓南第2ビル 1F TEL:098-987-5250

I 県内企業の景況判断 BSI

■ 実績と見通し

- 実績(2025年1-3月期)
  - 全体の景況判断 BSI(実績)は、-0.8 で若干の「下降」超
- 見通し(2025年4-6月期)
  - 全体の景況判断 BSI(見通し)は、12.6 で「上昇」超

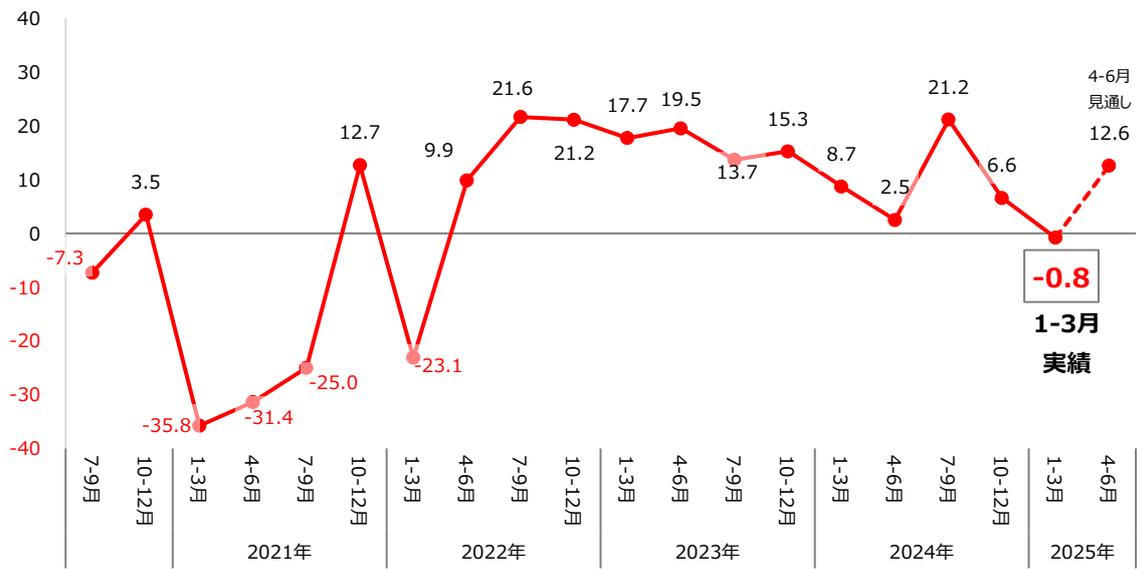
■ 主要業種別結果

- 実績(2025年1-3月期)
  - 「上昇」超は、不動産業等(34.5)、旅行・宿泊業(31.2)、建設業(15.4)、情報通信業(14.3)だった。
  - 「下降」超は、医療・福祉(-43.8)、製造業(-34.9)、その他のサービス業(-9.7)、飲食サービス業(-9.1)、卸売・小売業(-5.7)となっている。
- 見通し(2025年4-6月期)
  - 「上昇」超は、情報通信業(42.9)、不動産業等(27.6)、飲食サービス業(22.8)、卸売・小売業(18.3)、旅行・宿泊業(15.6)、その他のサービス業(12.5)、製造業(4.6)となっている。建設業は0.0だった。
  - 「下降」超は、医療・福祉(-12.5)のみだった。

■ 企業の景況判断BSI(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

時期	2023年		2024年				2025年		
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
全業種BSI	13.7	15.3	8.7	2.5	21.2	6.6	10.3	<b>-0.8</b>	<b>12.6</b>
建設業	3.1	30.4	10.4	<b>-4.1</b>	<b>-2.9</b>	18.2	9.1	<b>15.4</b>	<b>0.0</b>
製造業	<b>-7.1</b>	17.5	<b>-6.5</b>	0.0	9.3	8.5	<b>-8.6</b>	<b>-34.9</b>	<b>4.6</b>
情報通信業	0.0	0.0	46.2	16.7	33.3	37.5	12.5	<b>14.3</b>	<b>42.9</b>
卸売・小売業	29.6	16.7	<b>-3.0</b>	<b>-4.8</b>	31.7	1.6	17.2	<b>-5.7</b>	<b>18.3</b>
不動産業等	24.0	12.1	22.2	11.8	14.7	18.2	30.3	<b>34.5</b>	<b>27.6</b>
旅行・宿泊業	57.7	0.0	20.0	<b>-9.8</b>	67.6	<b>-17.2</b>	10.4	<b>31.2</b>	<b>15.6</b>
飲食サービス業	50.0	6.3	17.4	<b>-14.3</b>	62.5	<b>-13.6</b>	4.5	<b>-9.1</b>	<b>22.8</b>
医療・福祉	<b>-29.4</b>	0.0	0.0	5.0	<b>-10.5</b>	0.0	11.1	<b>-43.8</b>	<b>-12.5</b>
その他のサービス業	11.8	19.7	11.3	19.8	16.5	10.4	6.5	<b>-9.7</b>	<b>12.5</b>
資本金別									
1000万円未満	10.8	14.4	<b>-1.7</b>	6.1	23.3	0.0	<b>-2.7</b>	<b>-6.9</b>	<b>20.0</b>
1000~5000万円未満	10.1	14.3	14.4	<b>-2.2</b>	17.0	3.4	15.6	<b>2.2</b>	<b>7.8</b>
5000万~1億円未満	25.6	19.2	12.5	15.6	27.7	23.8	11.9	<b>-2.4</b>	<b>12.1</b>
1億円以上	26.1	25.0	8.7	0.0	21.7	32.0	20.0	<b>13.0</b>	<b>17.4</b>
従業員数別									
10人未満	9.0	9.3	7.5	7.6	15.1	<b>-4.1</b>	5.1	<b>2.0</b>	<b>38.6</b>
10~19人	4.2	18.3	11.3	<b>-11.3</b>	32.9	6.2	9.4	<b>0.0</b>	<b>-11.1</b>
20~49人	9.6	12.1	1.9	2.1	10.1	12.1	14.3	<b>-5.1</b>	<b>-2.0</b>
50~99人	31.8	27.8	4.5	4.4	29.2	15.2	15.2	<b>-2.3</b>	<b>8.9</b>
100人以上	22.0	20.4	40.0	5.3	29.6	11.1	13.0	<b>2.1</b>	<b>22.4</b>
地域別									
本島北部地区	28.0	10.3	17.1	<b>-33.3</b>	25.0	<b>-2.7</b>	8.1	<b>17.2</b>	<b>10.3</b>
本島中部地区	13.8	17.1	8.8	5.9	20.9	7.4	12.5	<b>-5.4</b>	<b>4.7</b>
本島南部地区	15.5	20.9	11.5	12.7	2.9	30.0	10.0	<b>3.5</b>	<b>15.7</b>
那覇地区	10.2	16.7	7.7	<b>-7.3</b>	24.3	8.4	12.6	<b>-6.1</b>	<b>19.4</b>
離島地区	9.4	<b>-2.9</b>	0.0	36.8	50.0	<b>-32.4</b>	<b>-2.9</b>	<b>11.8</b>	<b>23.5</b>

■ BSI 推移



## 2 各業界別総評

### 観光関連 [ 「上昇」超 外国客増加で市場活況 ]

2025年1-3月期の旅行・宿泊業の景況判断 BSI は31.2で「上昇」超となった。

沖縄県への入域客数は2025年2月まで39カ月にわたり前年比増。1-3月期はスポーツコンベンションや春休み需要で国内客数が堅調に推移しているのに加え、空路による外国客数もコロナ禍前の水準に近づくほどに回復しており、市場は活況を呈している。アンケート結果でも、外国市場の BSI は34.3と好調で、自由意見でも外国客増加への言及が見られる。現時点で統計結果には出ていないものの、外国客数は相当に回復しているものとみられる。

引き続き仕入れ価格が高水準となっているが、商品・サービスの販売価格の上昇は限定的となっている。一見、十分に価格転嫁できていない様相だが、売上、経常利益共に大きく「上昇」超となっていることから、市場が活況を呈す中で、一定の利益を確保できている事業者が多いようだ。一方、ヒアリングでは一連の値上がりについて、「首都圏等の市場から見ると、沖縄旅行に割高感が出ている」とし、ただ値上げをするのではなく、価格に見合ったサービスの質を確保する必要があるとの指摘が聞かれた。

このほか、人手不足が引き続き高水準であるものの、以前に比較しやや緩和している。稼働の調整、アウトソーシング、DX 導入などで人手不足を対策する中で、長引く人手不足状態への順応もあるようだ。

2025年4-6月の景況見通し BSI は15.6で「上昇」超。観光において、4-6月は閑散期に当たるものの、外国市場の BSI が高く、外国客数の本格回復への期待が大きくなっている。

## 建設業 [ 2期連続「上昇」超、人材不足と建築費高騰が課題 ]

1-3月期の建設業の景況判断 BSI は 15.4 で 2期連続「上昇」超となった。2024年の県内着工建築物の床面積は減少した一方で工事費予定額は増加しており、建築コストの上昇が鮮明になっている。

県内建設業では建築単価の上昇が続いており、セメントを含む資材価格と人件費の両方が影響している。2024年問題への対応として残業規制の影響も顕在化しており、人員不足から受注を抑制せざるを得ない状況も見られる。

マンション市場は、2024年の着工数が前年比で半減し 834 戸にとどまった。土地価格と建築費の高騰によりマンション建設の減速が顕著である。金利上昇も購入マインドに影響を与えており、市場の先行きに不透明感をもたらしている。

不動産市場は、公示地価調査によると県内住宅地の地価は 7.3%上昇、商業地は 7.0%上昇、工業地は 6.9%上昇。那覇市を中心に商業用地は活発な動きが続き、特に飲食関連の需要が堅調である。宮古島・石垣島でもリゾート開発を中心に地価上昇が続いている。9月に公開される基準地価の調査結果ではジャングリア開業に伴う名護市を中心とした北部地域の不動産価格の動向が注目される。

外国人向け賃貸住宅市場は入居率が高水準を維持しており、家賃相場・利回りともに堅調に推移している。マンスリーマンション市場も 1-3月期は堅調で、特に宮古・石垣は高稼働率を維持している。

4-6月期の景況見通しは BSI 0.0 と横ばい。防衛関連の大型工事継続が見込まれるが、引き続き、従業員数の大きな不足や仕入れ価格の上昇が課題となっている。公共・民間ともに一定の工事は維持される見通しである。

## 卸売・小売業 [ 「下降」超 続く物価高で県民需要が停滞か ]

1-3月期の卸売・小売業の景況判断 BSI は-5.7 で「下降」超となった。売上は「上昇」超にも関わらず、経常利益は「下降」超となっている。度重なる値上げで、物価は過去最高水準まで高まっているにも関わらず、それでも事業者側ではまだ十分な価格転嫁が行われていない状況があると示唆される。市場を見ると、県内需要が 0.0 となっているほか、観光客需要も限定的であり、県民需要を筆頭に消費マインドが停滞気味になっているとみられる。

4-6月期の見通しは 18.3 で「上昇」超。県内需要の増加が期待されているものの、経常利益 BSI は限定的で、利益確保が厳しい状況は続く。他業種と比較し、海外需要 BSI が低めとなっている。

## 飲食サービス業 [ 提供価格高騰で県民需要低下 ]

1-3月期の飲食サービス業の景況判断 BSI は-9.1 で「下降」超となった。売上高も「下降」超で、経常利益は大きく「下降」超となっている。人手不足も顕著だ。

引き続き仕入れ価格 BSI が突出して高くなっているものの販売価格の上昇は限定的であり、価格転嫁が十分に行われていないことが示唆される。

市場を見ると、観光の好調さの恩恵は受けているものの、県内需要は「下降」超で、下降幅も大きい。提供価格の高騰により、県民における外食マインドが低下しているようだ。

4-6月期の見通しは 22.8 で「上昇」超も、経常利益は「下降」超。原料高や人手不足が引き続き顕著で、厳しい経営環境が続くとみられる。

## 製造業 [ 景況感は大きく悪化 価格転嫁が不十分で ]

1-3月期の景況判断 BSI は-34.9 で「下降」超。売上高や経常利益も大きく悪化しており、長引く仕入れ価格の高騰により、景況感は大きく悪化している。

仕入れ価格 BSI が 65.1 に対し販売価格 BSI は 14.0 と、価格転嫁が十分に行われておらず、収益の圧迫が顕著になっているとみられる。サプライチェーンの上流で B to B 企業が多いこともあり、柔軟に価格交渉ができない状況があると示唆される。

市場を見ると、県民需要が大きく「下降」超となっているだけでなく、県外需要、海外需要共に「下降」超で、好調な観光からの波及も乏しい。

4-6月期の見通しは 4.6 で「上昇」超。ただし経常利益は引き続き「下降」超で、厳しい経営環境が続くとみられる。

## 雇用 [ 建設、飲食サービス、医療・福祉で不足感強く ]

### 【従業員】

1-3月期の従業員 BSI は 45.3 で「不足」超となっている。全ての業種で人員が不足する状況が見られる。建設業、飲食サービス業、医療・福祉で「不足」超幅が大きくなっている

### 3 県内企業アンケート調査結果

沖縄県内景況や、企業経営の実態と見通しを把握し、今後の各企業の経営の参考情報として提供することを目的とする。

#### (1) 調査概要および調査対象について

調査の対象、調査方法、回収率等は以下のとおり。

#### 調査概要

項目	内容
調査対象	県内に本社所在地がある 2000 企業。ただし調査対象有効企業数は、宛先不明として返送されてきた 26 企業を除いた 1974 企業。
抽出方法	信用調査会社などから提供を受けた。その際、業種、地域については、経済センサス調査基礎調査結果と偏りが少なくなるよう考慮して抽出した。そのほか、各種公開情報等を参考にして発送先を選定した。
調査方法	郵送により調査票を配布・回収 ※一部インターネットによる回答・回収
調査期間	2025年3月3日に調査票を発送し、3月24日消印分までを集計
回収状況	有効回収数:367通(有効回答率:18.6%)

弊社が取りまとめた、県内企業の各種 BSI(Business Survey Index)の算出方法は、以下のとおりである。

$$BSI = (\text{「上昇」と回答した企業構成比}) - (\text{「下降」と回答した企業構成比})$$

なお、BSI は景気の現状や先行きを「上昇」・「下降」といった前期と変化した方向で判断する指標である。BSI がプラスであれば、企業の景況や各種項目が前期と比較して好調であるということであり、BSI がマイナスであれば、景況や各種項目が前期と比較して不調と考えられる。

また、本調査は、比較的、小規模事業所までも網羅した調査となっている点が特徴である。

- ※ 本文中における、カッコ内( )の数値は単位が特に記載されていない場合は、その業種、分野の BSI を示す。
- ※ 調査結果について、回答した割合を小数第二位で四捨五入しているため、各項目の合計が 100%にならない場合がある。
- ※ 複数回答の場合は、構成比(パーセント計算)の和が 100.0 を超えるものがある。
- ※ 統計表において n はサンプル数を表す。

(2) 調査結果

<回答企業属性>

回答企業総数は367社。属性別の構成比は以下の通りとなっている。

【資本金】

	選択肢	n	%
1	1000万円未満	115	31.3
2	1000万円-5000万円未満	179	48.8
3	5000万円-1億円未満	41	11.2
4	1億円以上	23	6.3
	無回答	9	2.5
	全体	367	100.0

【従業員数】

	選択肢	n	%
1	10人未満	101	27.5
2	10-19人	72	19.6
3	20-49人	98	26.7
4	50-99人	45	12.3
5	100人以上	49	13.4
	無回答	2	0.5
	全体	367	100.0

【売上先】

	選択肢	n	%
1	県内売上50%以上	296	80.7
2	県外売上50%以上	62	16.9
3	海外売上20%以上	26	7.1

【業種】

	選択肢	n	%
1	農業、林業、漁業	0	0.0
2	建設業	65	17.7
3	製造業	43	11.7
4	情報通信業	14	3.8
5	卸売・小売業	71	19.3
6	不動産業	29	7.9
7	旅行・宿泊業	32	8.7
8	飲食サービス業	22	6.0
9	医療、福祉	16	4.4
10	その他のサービス業	72	19.6
11	その他	3	0.8
	無回答	0	0.0
	全体	367	100.0

【地域】

	選択肢	n	%
1	北部	29	7.9
2	中部	149	40.6
3	南部	57	15.5
4	那覇	98	26.7
5	離島	34	9.3
	無回答	0	0.0
	全体	367	100.0

【全体】実績  $\searrow$ -0.8、見通し  $\nearrow$ 12.6

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 1-3月期の景況 BSI は-0.8 で若干の「下降」超。売上高は「上昇」超、一方で経常利益は若干の「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干の「下降」超となっている。
- 県内需要は若干の「下降」超、県外需要と海外需要は共に「上昇」超となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(2025年1-3月期との比較)

- 4-6月期の景況見通しは 12.6 で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は若干の「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干の「増加」超となっている。
- 県内需要、県外需要、海外需要は共に「上昇」超となっている。



【景況実績の判断要因】

■ 2025年1-3月期の景況判断要因

- 1-3月期の景況について「上昇」とした96社における景況上昇の要因は、「県内需要の動向」（71.9%）が最も多く、次いで「県外需要の動向」（36.5%）、「販売価格の動向」（20.8%）、「海外需要の動向」（16.7%）が続いた。

2025年1-3月期景況の上昇要因

景況判断要因（上昇）	回答数 (n=96)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	69	71.9
県外需要（売上）の動向	35	36.5
海外需要（売上）の動向	16	16.7
販売価格の動向	20	20.8
仕入れ価格の動向	8	8.3
仕入れ以外のコストの動向	2	2.1
資金繰り・資金調達の動向	1	1.0
株式・不動産等の資産価格の動向	3	3.1
為替レートの動向	1	1.0
その他	4	4.2
無回答	3	3.1

- 「下降」とした99社における景況下降の要因は、「県内需要の動向」（73.7%）が最も多く、「仕入れ価格の動向」（35.4%）、「県外需要の動向」（28.3%）、「仕入れ以外のコストの動向」（26.3%）が続いた。

2025年1-3月期景況の下降要因

景況判断要因（下降）	回答数 (n=99)	構成比 (%)
県内需要（売上）の動向	73	73.7
県外需要（売上）の動向	28	28.3
海外需要（売上）の動向	6	6.1
販売価格の動向	14	14.1
仕入れ価格の動向	35	35.4
仕入れ以外のコストの動向	26	26.3
資金繰り・資金調達の動向	10	10.1
株式・不動産等の資産価格の動向	0	0.0
為替レートの動向	5	5.1
その他	5	5.1
無回答	0	0.0

【景況見通しの判断要因】

■ 2025年4-6月期の景況見通し判断要因

- 4-6月期の見通しを「上昇」とした114社における上昇要因は、「県内需要の動向」(74.6%)が最も多く、次いで「県外需要の動向」(47.5%)、「販売価格の動向」(25.3%)、「海外需要の動向」(20.2%)、「仕入れ価格の動向」(14.1%)が続いた。

4-6月期景況の見通し:上昇要因

景況見通し判断要因(上昇)	回答数 (n=114)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	85	74.6
県外需要(売上)の動向	47	47.5
海外需要(売上)の動向	20	20.2
販売価格の動向	25	25.3
仕入れ価格の動向	14	14.1
仕入れ以外のコストの動向	7	7.1
資金繰り・資金調達の動向	2	2.0
株式・不動産等の資産価格の動向	2	2.0
為替レートの動向	2	2.0
その他	4	4.0
無回答	0	0.0

- 「下降」とした68社における下降要因は、「県内需要の動向」(72.1%)で最も多く、次いで「仕入れ価格の動向」(39.7%)、「県外需要の動向」(25.0%)、「仕入れ以外のコストの動向」(19.1%)が続いた。

4-6月期景況の見通し:下降要因

景況見通し判断要因(下降)	回答数 (n=68)	構成比 (%)
県内需要(売上)の動向	49	72.1
県外需要(売上)の動向	17	25.0
海外需要(売上)の動向	7	10.3
販売価格の動向	10	14.7
仕入れ価格の動向	27	39.7
仕入れ以外のコストの動向	13	19.1
資金繰り・資金調達の動向	3	4.4
株式・不動産等の資産価格の動向	1	1.5
為替レートの動向	1	1.5
その他	5	7.4
無回答	1	1.5

【主要業種別】

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 全体では、-0.8で若干の「下降」超となっている。
- 「上昇」超は、不動産業等(34.5)、旅行・宿泊業(31.2)、建設業(15.4)、情報通信業(14.3)だった。
- 「下降」超は、医療・福祉(-43.8)、製造業(-34.9)、その他のサービス業(-9.7)、飲食サービス業(-9.1)、卸売・小売業(-5.7)となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 全体では12.6で「上昇」超となっている。
- 「上昇」超は、情報通信業(42.9)、不動産業等(27.6)、飲食サービス業(22.8)、卸売・小売業(18.3)、旅行・宿泊業(15.6)、その他のサービス業(12.5)、製造業(4.6)となっている。建設業は0.0だった。
- 「下降」超は、医療・福祉(-12.5)のみだった。



【資本金別】

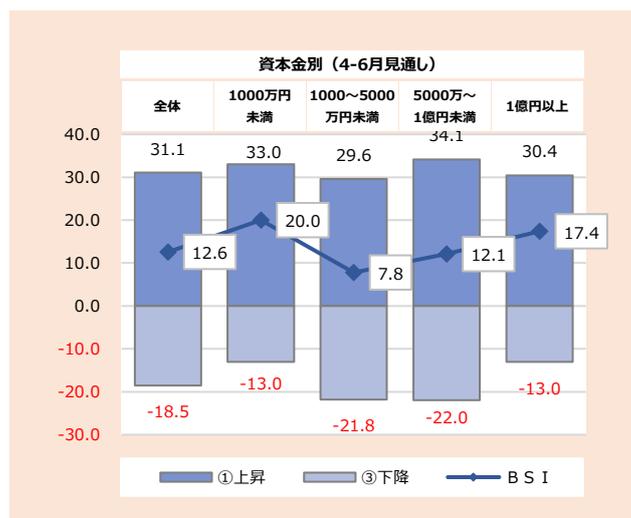
■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 1-3月期の景況は、資本金1000万円~5000万円未満と1億円以上の企業は「上昇」超となっている。
- 1000万円未満と5000万~1億円未満は「下降」超だった。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の見通しは、全ての資本金規模で「上昇」超となっている。
- 1000万円未満が20.0と、最も「上昇」幅が大きい。



【従業員数別】

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 1-3月期の景況は、従業員10人未満と100人以上の企業は若干の「上昇」超となっている。10~19人は0.0だった。
- 20~49人と50~99人の企業は「下降」超だった。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の見通しは、10人未満と50~99人、100人以上で「上昇」超だった。
- 10~19人は「下降」超、20~49人は若干の「下降」超だった。



【地域別】

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 1-3月期の景況は、北部(17.2)、離島(11.8)、南部(3.5)で上昇超となった。
- 那覇(-6.1)と中部(-5.4)は「下降」超だった。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の景況見通しは、全地域で「上昇」超だった。
- 離島(23.5)が最も大きな「上昇」幅を示した。



【売上先マーケット別】

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 1-3月期の景況は、海外売上 20%以上(26.9)と県外売上 50%以上(3.3)が「上昇」超となった。
- 県内売上 50%以上(-3.1)のみ若干の「下降」超だった。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の景況見通しは、売上先マーケットに関わらず全て「上昇」超となっている。



【建設業】 実績  $\nearrow$ 15.4、見通し  $\rightarrow$ 0.0

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 建設業の1-3月期の景況BSIは15.4で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は若干の「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干の「増加」超となっている。
- 県内需要と県外需要は共に「上昇」超、海外需要は0.0となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の景況見通しは0.0。売上高は「上昇」超、経常利益は若干の「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超。仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は若干の「下降」超となっている。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要は若干の「上昇」超、海外需要は0.0となっている。



【製造業】 実績  $\searrow$ -34.9、見通し  $\nearrow$ 4.6

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 製造業の1-3月期の景況BSIは-34.9で「下降」超。売上高と経常利益は共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超。臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要と県外需要、海外需要はいずれも「下降」超となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

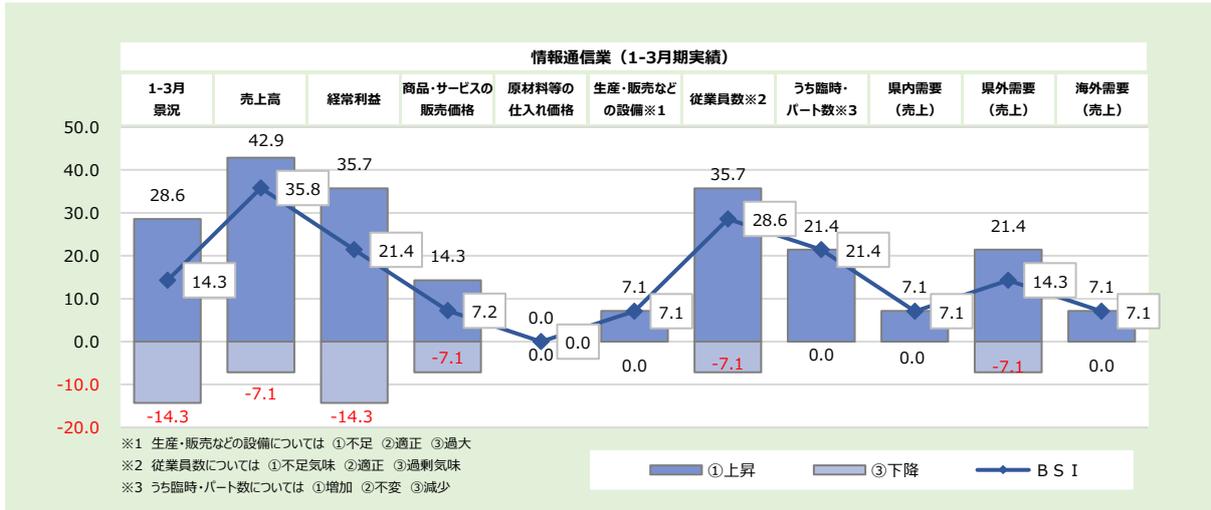
- 4-6月期の景況見通しは4.6で若干の「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超。臨時・パート数は若干の「増加」超となっている。
- 県内需要と海外需要は共に若干の「上昇」超、県外需要は「上昇」超となっている。



【情報通信業】実績  $\nearrow$ 14.3、見通し  $\nearrow$ 42.9

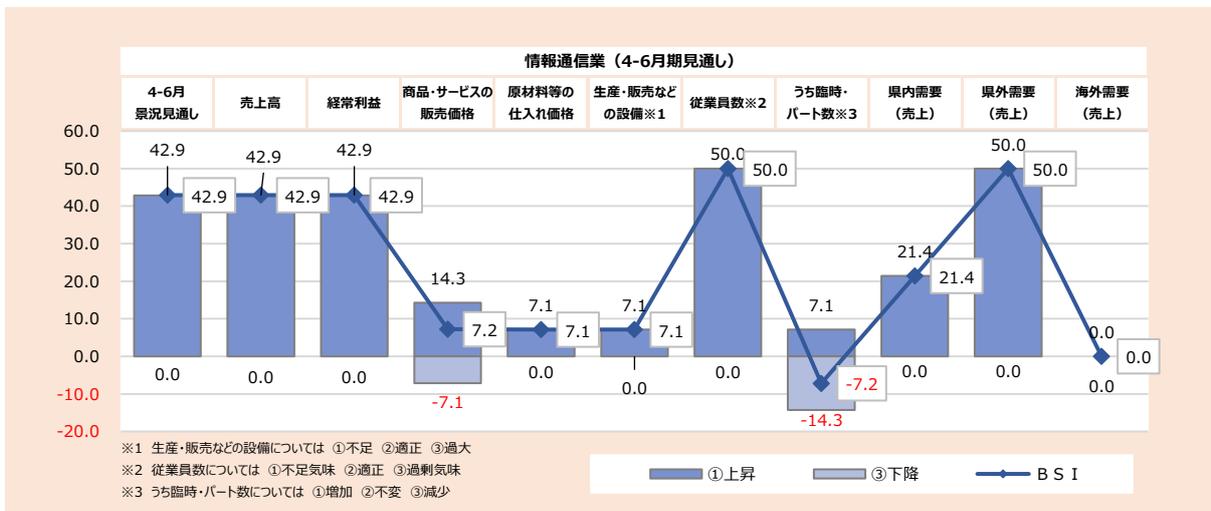
■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 情報通信業の1-3月期の景況は14.3で「上昇」超となっている。売上高と経常利益は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は0.0となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要と県外需要、海外需要はいずれも「上昇」超となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の景況見通しは42.9で「上昇」超となっている。売上高、経常利益とも大きく「上昇」超となっている。
- 販売価格と仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要は大きく「上昇」超、海外需要は0.0となっている。





【不動産業等】実績  $\nearrow$ 34.5、見通し  $\nearrow$ 27.6

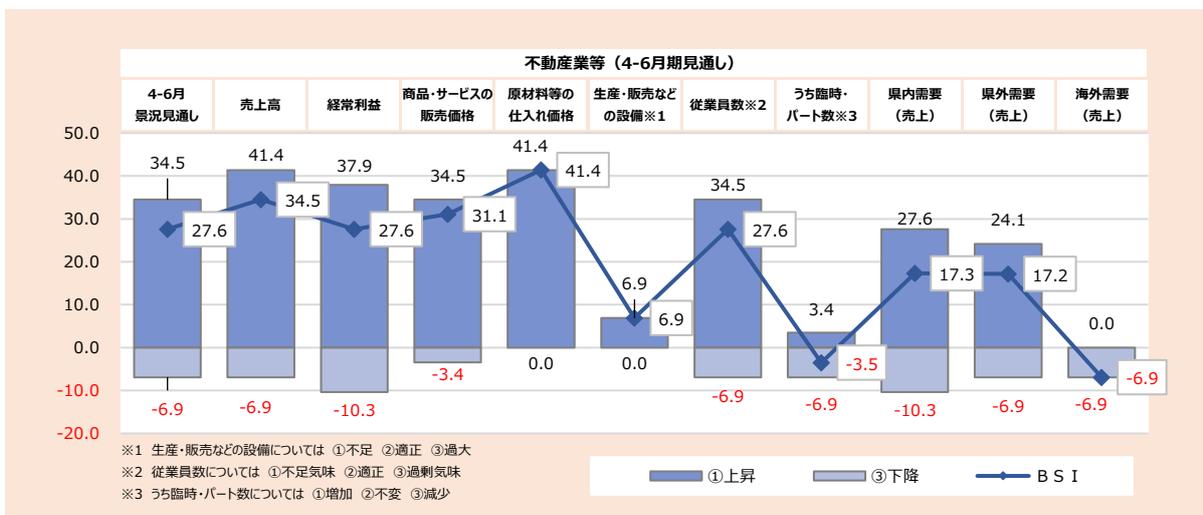
■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 不動産業等の1-3月期の景況は34.5で「上昇」超。売上高と経常利益共は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格と仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超となっている。臨時・パート数は若干の「減少」超となっている。
- 県内需要と県外需要、海外需要はいずれも「上昇」超となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の景況見通しは27.6で「上昇」超。売上高と経常利益は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超、臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要と県外需要はともに「上昇」超、海外需要は「下降」超となっている。



【旅行・宿泊業】実績 ↗31.2、見通し ↗15.6

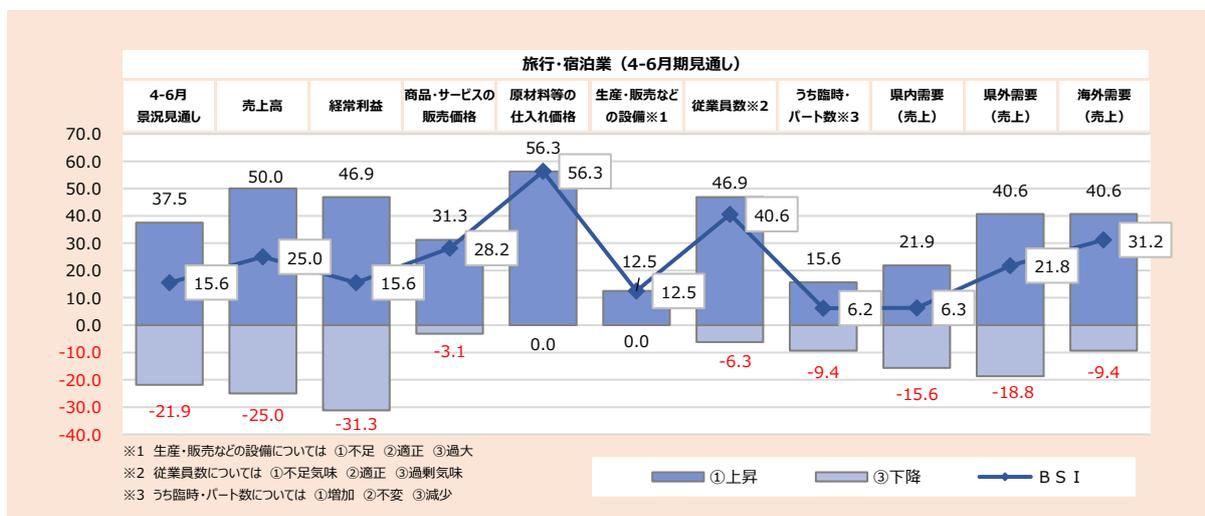
■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 旅行・宿泊業の1-3月期の景況は31.2で「上昇」超。売上高と経常利益は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格と仕入れ価格は共に大きく「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超、臨時・パート数は「上昇」超となっている。
- 県内需要は若干の「下降」超と県外需要、国外需要は「上昇」超となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

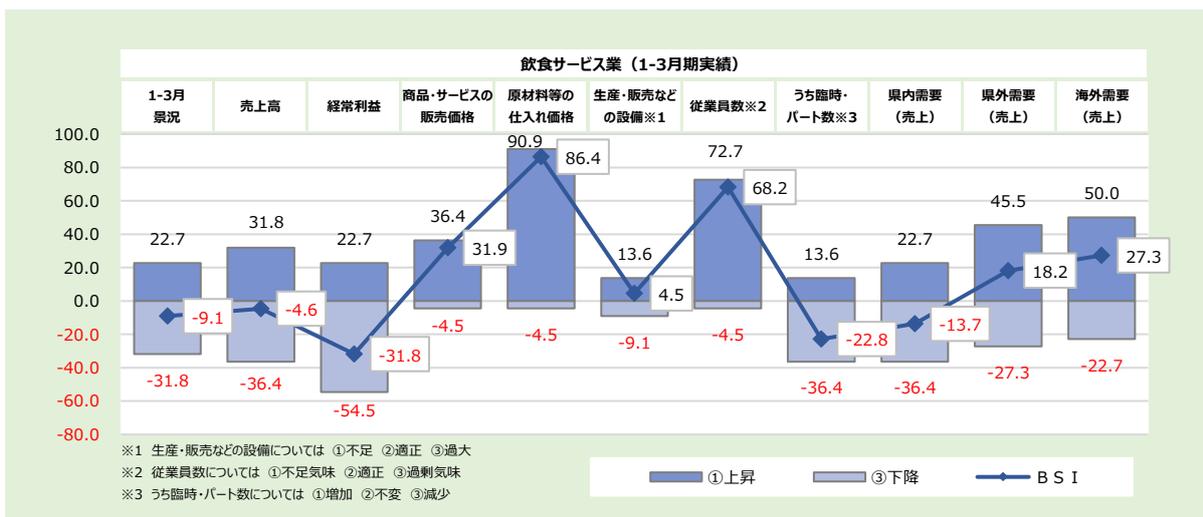
- 4-6月期の景況見通しは15.6で「上昇」超。売上高と経常利益は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要と県外需要、海外需要は共に「上昇」超となっている。



【飲食サービス業】実績  $\searrow -9.1$ 、見通し  $\nearrow 22.8$

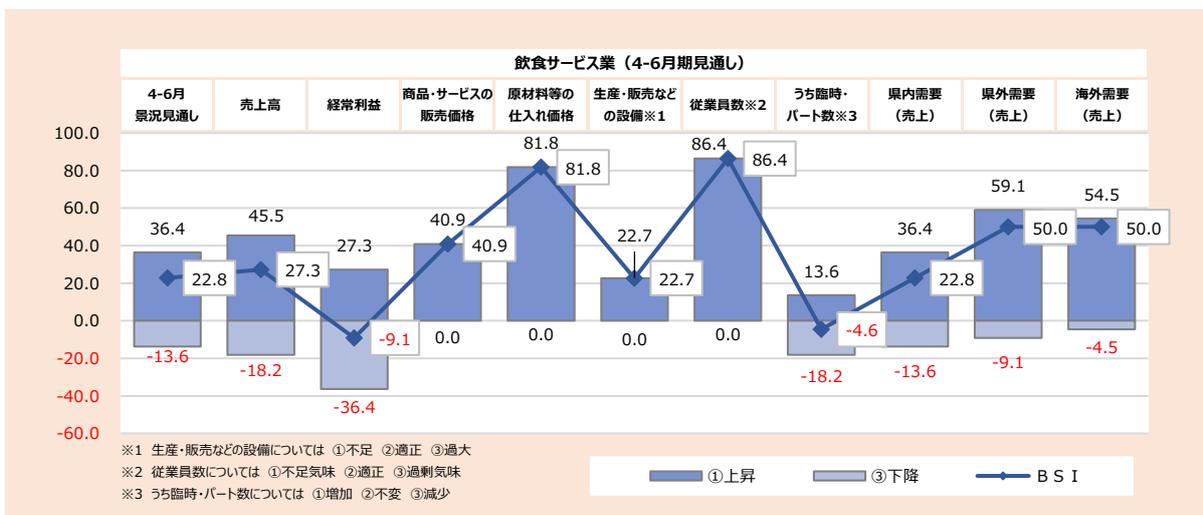
■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 飲食サービス業の1-3月期の景況は-9.1で「下降」超。売上高と経常利益は共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要は「減少」超、県外需要と海外需要は共に「上昇」超となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の景況見通しは22.8で「上昇」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超。臨時・パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要、海外需要は共に大きく「上昇」超となっている。



【医療・福祉】実績  $\searrow$ -43.8、見通し  $\searrow$ -12.5

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 医療・福祉の1-3月期の景況は-43.8で「下降」超。売上高と経常利益は共に「下降」超となっている。
- 販売価格は「上昇」超、仕入れ価格は大きく「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は「増加」超となっている。
- 県内需要は「下降」超、県外需要と海外需要は共に0.0となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の見通しは-12.5で「下降」超。売上高は「上昇」超、経常利益は「下降」超となっている。
- 販売価格と仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備は「不足」超、従業員数は大きく「不足」超、臨時・パート数は0.0となっている。
- 県内需要は「上昇」超、県外需要と海外需要は共に0.0となっている。



【その他のサービス業】 実績  $\searrow$ -9.7、見通し  $\nearrow$ 12.5

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- その他のサービス業の1-3月期の景況は-9.7で「下降」超。売上高と経常利益は共に若干の「下降」超となっている。
- 販売価格と仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」、パート数は「減少」超となっている。
- 県内需要は「下降」超、県外需要は若干の「下降」超、海外需要は若干の「上昇」超となっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

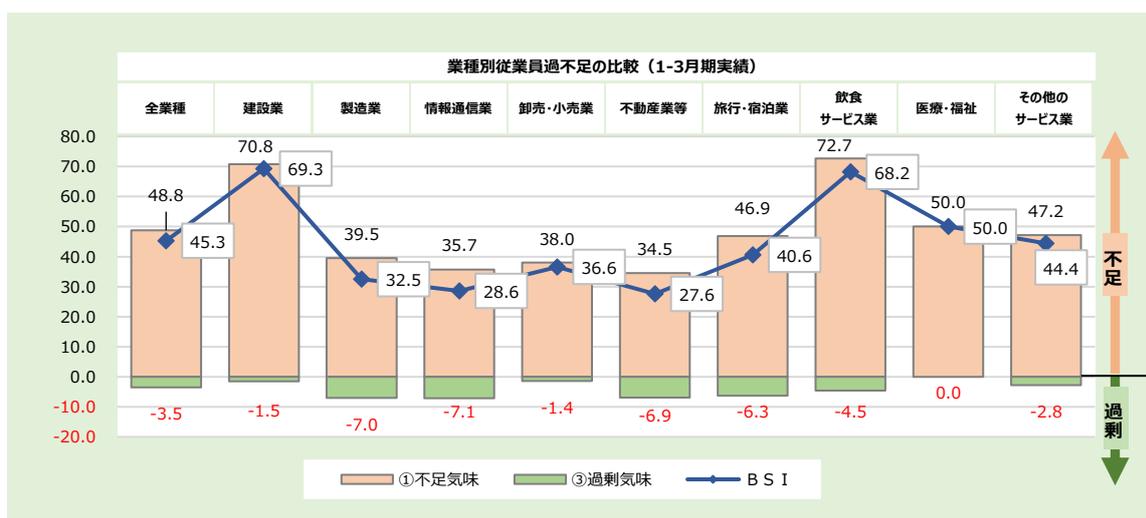
- 4-6月期の景況見通しは12.5で「上昇」超。売上高と経常利益は共に「上昇」超となっている。
- 販売価格と仕入れ価格は共に「上昇」超となっている。
- 設備と従業員数は共に「不足」超、臨時・パート数は若干の「増加」超となっている。
- 県内需要と県外需要、海外需要はいずれも「上昇」超となっている。



【雇用関連集計(従業員数)】実績  $\nearrow 45.3$ (不足)、見通し  $\nearrow 47.9$ (不足)

■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 1-3月期の従業員 BSI は 45.3 で「不足」超となっている。
- 全ての業種で人員が不足する状況が見られる。
- 建設業、飲食サービス業、医療・福祉で「不足」超幅が大きくなっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

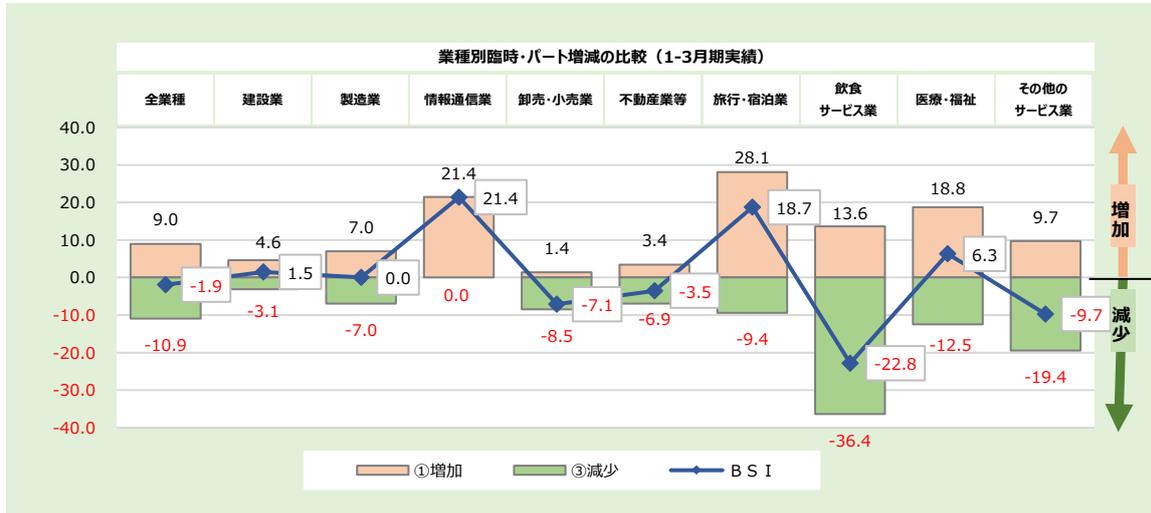
- 4-6月期の従業員の見通し BSI は 47.9 で「不足」超となっている。
- 全ての業種で人員が不足する状況が見られる。
- 飲食サービス業、建設業、情報通信業、医療・福祉で「不足」超幅が大きくなっている。



【雇用関連集計(臨時・パート)】実績  $\searrow -1.9$ (減少)、見通し  $\nearrow 1.9$ (増加)

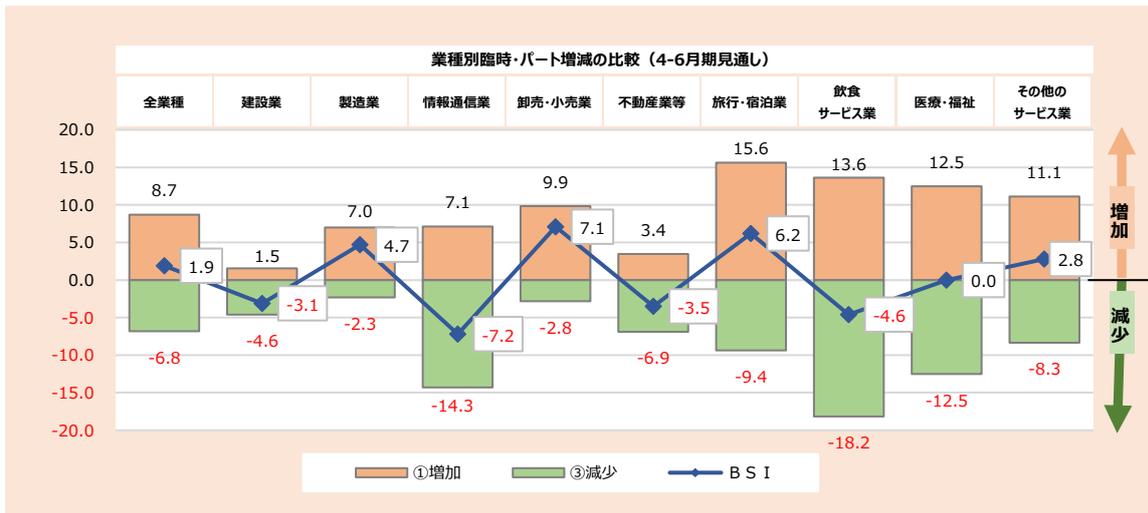
■ 2025年1-3月期の実績(2024年10-12月期との比較)

- 1-3月期の臨時・パートのBSIは-1.9で若干の「減少」超となっている。
- 飲食サービス業、その他のサービス業、卸売・小売業で「減少」幅が大きくなっている。



■ 2025年4-6月期の見通し(1-3月期との比較)

- 4-6月期の臨時・パートの見通しBSIは1.9で若干の「増加」超となっている。
- 卸売・小売業で「増加」幅が大きく、情報通信業で「減少」幅が大きくなっている。



主要業種別・項目別 BSI 一覧表

■全体BSI

時期	2023年		2024年			2025年			
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	13.7	15.3	8.7	2.5	21.2	6.6	10.3	-0.8	12.6
売上高	17.5	19.1	7.4	3.2	24.3	10.8	13.5	8.2	19.9
経常利益	9.0	7.4	-3.2	-8.7	12.7	-6.6	1.1	-1.9	4.9
商品・サービスの販売価格	26.2	18.3	23.5	16.0	22.7	21.0	22.9	28.3	27.5
原材料等の仕入れ価格	56.3	47.1	48.4	54.1	46.8	51.9	46.7	55.3	47.7
生産・販売などの設備	10.5	9.0	8.7	7.7	14.0	11.1	12.2	10.6	12.0
従業員数	53.1	49.0	45.8	41.9	51.2	50.0	52.2	45.3	47.9
うち臨時・パート	5.2	3.3	1.9	0.7	7.2	0.0	0.2	-1.9	1.9
県内需要(売上)	16.6	18.0	5.0	3.5	17.6	6.7	10.8	-0.3	15.3
県外需要(売上)	13.7	6.5	9.5	9.7	16.0	2.8	6.4	6.8	14.7
海外需要(売上)	8.2	4.1	7.1	4.0	9.6	4.4	4.4	6.6	6.8

■建設業BSI

時期	2023年		2024年			2025年			
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	3.1	30.4	10.4	-4.1	-2.9	18.2	9.1	15.4	0.0
売上高	1.6	29.0	7.5	0.0	0.0	27.3	18.2	24.7	12.3
経常利益	-4.7	8.7	-11.9	-20.3	-15.9	3.1	7.6	6.2	-4.6
商品・サービスの販売価格	23.4	15.9	23.9	13.5	17.4	12.2	16.7	29.2	30.8
原材料等の仕入れ価格	64.1	47.8	58.2	58.1	46.4	51.5	53.1	57.0	49.2
生産・販売などの設備	9.4	13.0	7.5	8.1	14.5	13.6	13.6	10.8	10.8
従業員数	65.6	60.9	59.7	50.0	72.5	77.3	78.8	69.3	67.7
うち臨時・パート	10.9	2.9	-3.0	-2.7	5.8	7.6	4.6	1.5	-3.1
県内需要(売上)	3.1	27.5	9.0	-5.4	0.0	19.7	16.7	18.5	15.4
県外需要(売上)	7.8	2.9	9.0	2.7	2.9	3.0	6.1	1.6	3.1
海外需要(売上)	0.0	1.4	1.5	1.4	1.4	1.5	1.5	0.0	0.0

■製造業BSI

時期	2023年		2024年			2025年			
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	-7.1	17.5	-6.5	0.0	9.3	8.5	-8.6	-34.9	4.6
売上高	-4.8	25.0	-8.7	0.0	14.0	25.7	-2.8	-25.6	9.3
経常利益	-7.1	10.0	-15.2	-18.9	9.3	-8.5	-20.0	-32.6	-9.3
商品・サービスの販売価格	31.0	25.0	8.7	10.8	16.3	22.8	22.8	14.0	30.2
原材料等の仕入れ価格	57.1	57.5	30.4	54.1	48.8	57.1	57.1	65.1	60.4
生産・販売などの設備	16.7	22.5	21.7	16.2	23.3	20.0	17.1	18.6	16.3
従業員数	42.9	55.0	47.8	51.4	34.9	34.3	34.3	32.5	34.9
うち臨時・パート	7.1	5.0	6.5	-5.4	0.0	-2.8	0.0	0.0	4.7
県内需要(売上)	-4.8	27.5	-17.4	-13.5	11.6	-2.8	-8.6	-20.9	2.3
県外需要(売上)	11.9	7.5	2.2	21.6	14.0	0.0	0.0	-9.3	13.9
海外需要(売上)	0.0	-2.5	-2.2	2.7	2.3	0.0	2.9	-4.7	2.4

■情報通信業BSI

時期	2023年		2024年			2025年			
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	0.0	0.0	46.2	16.7	33.3	37.5	12.5	14.3	42.9
売上高	0.0	13.3	38.5	27.8	13.3	37.5	12.5	35.8	42.9
経常利益	-11.8	0.0	30.8	11.1	6.7	25.0	0.0	21.4	42.9
商品・サービスの販売価格	11.8	0.0	38.5	16.7	20.0	12.5	12.5	7.2	7.2
原材料等の仕入れ価格	11.8	6.7	38.5	33.3	60.0	12.5	12.5	0.0	7.1
生産・販売などの設備	5.9	6.7	7.7	0.0	13.3	0.0	0.0	7.1	7.1
従業員数	64.7	66.7	69.2	50.0	66.7	62.5	62.5	28.6	50.0
うち臨時・パート	11.8	6.7	7.7	11.1	13.3	12.5	25.0	21.4	-7.2
県内需要(売上)	0.0	0.0	15.4	22.2	0.0	0.0	-12.5	7.1	21.4
県外需要(売上)	0.0	6.7	30.8	27.8	20.0	37.5	0.0	14.3	50.0
海外需要(売上)	0.0	6.7	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0

■卸売・小売業BSI

時期	2023年		2024年				2025年		
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	29.6	16.7	-3.0	-4.8	31.7	1.6	17.2	-5.7	18.3
売上高	48.1	24.2	-1.5	0.0	31.7	1.6	25.0	7.0	19.7
経常利益	33.3	15.2	-9.0	-14.3	23.8	-17.2	10.9	-5.7	5.7
商品・サービスの販売価格	40.7	31.8	35.8	38.1	34.9	51.6	43.7	43.7	35.2
原材料等の仕入れ価格	68.5	51.5	62.7	61.9	49.2	67.2	56.3	69.0	49.3
生産・販売などの設備	11.1	6.1	1.5	3.2	12.7	7.8	7.8	5.7	9.9
従業員数	46.3	45.5	40.3	39.7	47.6	32.8	37.5	36.6	36.6
うち臨時・パート	5.6	4.5	0.0	4.8	3.2	7.8	6.2	-7.1	7.1
県内需要(売上)	42.6	19.7	7.5	1.6	27.0	4.7	25.0	0.0	18.3
県外需要(売上)	24.1	7.6	6.0	7.9	14.3	0.0	6.2	4.3	7.1
海外需要(売上)	11.1	6.1	6.0	3.2	3.2	0.0	6.2	7.1	-1.4

■不動産業等BSI

時期	2023年		2024年				2025年		
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	24.0	12.1	22.2	11.8	14.7	18.2	30.3	34.5	27.6
売上高	16.0	12.1	29.6	11.8	20.6	9.1	36.3	27.6	34.5
経常利益	8.0	-3.0	22.2	2.9	14.7	3.1	30.3	24.1	27.6
商品・サービスの販売価格	12.0	15.2	14.8	5.9	14.7	15.2	21.2	34.5	31.1
原材料等の仕入れ価格	32.0	33.3	37.0	38.2	29.4	30.3	36.4	48.3	41.4
生産・販売などの設備	0.0	6.1	7.4	2.9	2.9	3.0	9.1	6.9	6.9
従業員数	24.0	21.2	29.6	20.6	17.6	39.4	36.4	27.6	27.6
うち臨時・パート	4.0	0.0	-3.7	2.9	2.9	3.0	6.1	-3.5	-3.5
県内需要(売上)	32.0	18.2	29.6	14.7	20.6	15.2	36.3	27.6	17.3
県外需要(売上)	12.0	9.1	14.8	11.8	14.7	6.1	30.3	17.2	17.2
海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	8.8	0.0	3.0	6.1	3.4	-6.9

■旅行・宿泊業BSI

時期	2023年		2024年				2025年		
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	57.7	0.0	20.0	-9.8	67.6	-17.2	10.4	31.2	15.6
売上高	61.5	-6.7	0.0	-7.3	70.6	-20.7	6.9	43.7	25.0
経常利益	46.2	-13.3	3.3	-19.5	55.9	-27.6	-10.3	37.5	15.6
商品・サービスの販売価格	53.8	-3.3	26.7	7.3	58.8	6.9	10.3	50.0	28.2
原材料等の仕入れ価格	80.8	43.3	53.3	53.7	61.8	51.7	38.0	56.3	56.3
生産・販売などの設備	19.2	-3.3	0.0	17.1	14.7	13.8	17.2	18.8	12.5
従業員数	61.5	43.3	30.0	31.7	55.9	41.4	44.8	40.6	40.6
うち臨時・パート	7.7	6.7	6.7	-9.8	26.5	6.9	0.0	18.7	6.2
県内需要(売上)	34.6	0.0	-16.7	-4.9	38.2	-24.1	-13.8	-3.2	6.3
県外需要(売上)	46.2	0.0	6.7	-2.4	55.9	-10.3	6.9	46.8	21.8
海外需要(売上)	30.8	13.3	16.7	9.8	41.2	17.3	13.8	34.3	31.2

■飲食サービス業BSI

時期	2023年		2024年				2025年		
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	50.0	6.3	17.4	-14.3	62.5	-13.6	4.5	-9.1	22.8
売上高	50.0	12.5	17.4	-19.0	58.3	-13.7	13.7	-4.6	27.3
経常利益	44.4	-12.5	4.3	-23.8	25.0	-22.8	-4.6	-31.8	-9.1
商品・サービスの販売価格	27.8	18.8	26.1	38.1	33.3	31.9	27.3	31.9	40.9
原材料等の仕入れ価格	72.2	81.3	69.6	90.5	83.3	81.9	72.8	86.4	81.8
生産・販売などの設備	5.6	0.0	8.7	9.5	20.8	9.1	18.2	4.5	22.7
従業員数	72.2	56.3	52.2	52.4	62.5	59.1	63.7	68.2	86.4
うち臨時・パート	22.2	0.0	-4.3	-19.0	0.0	-18.2	-13.6	-22.8	-4.6
県内需要(売上)	38.9	18.8	17.4	9.5	50.0	4.6	13.7	-13.7	22.8
県外需要(売上)	50.0	6.3	26.1	4.8	45.8	9.1	13.7	18.2	50.0
海外需要(売上)	44.4	6.3	30.4	-4.8	45.8	9.1	9.1	27.3	50.0

■医療・福祉BSI

時期	2023年		2024年				2025年		
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	-29.4	0.0	0.0	5.0	-10.5	0.0	11.1	-43.8	-12.5
売上高	-17.6	5.3	11.1	-5.0	15.8	27.7	11.1	-25.0	6.2
経常利益	-35.3	10.5	-16.7	-20.0	0.0	-11.1	-5.5	-31.3	-12.5
商品・サービスの販売価格	17.6	10.5	5.6	-5.0	15.8	11.1	22.2	6.2	12.5
原材料等の仕入れ価格	58.8	52.6	27.8	65.0	52.6	55.6	55.6	62.5	43.8
生産・販売などの設備	0.0	21.1	0.0	15.0	10.5	0.0	0.0	12.5	18.8
従業員数	64.7	52.6	50.0	45.0	73.7	72.2	66.7	50.0	50.0
うち臨時・パート	-23.5	-5.3	11.1	5.0	10.5	-11.1	0.0	6.3	0.0
県内需要(売上)	-11.8	10.5	5.6	5.0	10.5	11.1	11.1	-12.5	12.5
県外需要(売上)	5.9	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0
海外需要(売上)	0.0	0.0	0.0	-5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

■その他のサービス業BSI

時期	2023年		2024年				2025年		
	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月 実績	1-3月 (見通し)	1-3月 実績	4-6月期 (見通し)
景況BSI	11.8	19.7	11.3	19.8	16.5	10.4	6.5	-9.7	12.5
売上高	16.2	27.9	11.3	16.0	21.2	13.0	2.6	-2.7	22.2
経常利益	7.4	18.0	1.2	13.6	11.8	3.9	-6.5	-4.1	9.7
商品・サービスの販売価格	14.7	23.0	25.0	11.1	9.4	13.0	19.5	18.0	18.0
原材料等の仕入れ価格	45.6	47.5	42.5	42.0	31.8	42.9	31.2	38.9	34.7
生産・販売などの設備	11.8	6.6	13.8	3.7	12.9	11.7	11.7	11.1	11.1
従業員数	51.5	45.9	43.8	44.4	45.9	45.5	50.6	44.4	47.2
うち臨時・パート	2.9	9.8	6.3	8.6	9.4	-9.1	-10.4	-9.7	2.8
県内需要(売上)	19.1	19.7	7.5	13.6	14.1	10.4	1.3	-9.7	20.8
県外需要(売上)	-1.5	16.4	11.3	16.0	7.1	3.9	-1.3	-1.4	15.3
海外需要(売上)	7.4	6.6	12.5	6.2	9.4	6.5	1.3	2.7	8.3

—— 本資料のご利用に際して ——

- 本資料は弊社の著作物であり、著作権法により保護されております。著作権法の定めに従い、引用する際には、必ず出所・株式会社海邦総研と明記してください。
- 本資料は、弊社 HP (<http://www.kaiho-ri.jp/>) においても公表しております。
- 本調査に関する問い合わせは、弊社・地域経済調査部・瀬川、当銘までご連絡ください。

TEL:098-987-5250 E-mail:sonshu\_segawa@kaiho-ri.jp